

# 福井市都市交通戦略 第6回協議会

## - 議事要約 -

日 時：平成 20 年 7 月 29 日（火）午後 2 時～  
場 所：福井市地域交流プラザ 6 階 研修室 601

### 1. 開会 事務局

（省略）

### 2. あいさつ 事務局

平成 20 年度の第 1 回目の協議会ということで一言ごあいさつを申し上げます。平素は福井市のまちづくり、交通計画などでいろいろとご協力を賜りましてありがとうございます。また、本日はご多用の中、また暑い中本協議会に出席いただきましてありがとうございます。

本協議会は昨年度に設立され、当初は 19 年度中にとりまとめる予定をしていましたが、いろいろな事情で今年度に持ち越して検討を継続することになりました。今年度につきましては、広く市民の方からご意見をいただくパブリックコメントも含めて、年内くらいにとりまとめたいと考えています。

公共交通を取り巻く環境は厳しいものがありますが、一方ではガソリン価格の高騰、環境問題、健康問題など公共交通への追い風も吹いていると思います。

また、先般は公共交通の話題としてNHKの番組でも福井市の取り組みが放送されましたが、今後とも公共交通が利用し易くなるように、全域交通ネットワークの構築を目指していきたいと考えています。

どうぞ様々な観点から忌憚のないご意見をお願いいたします。

### 事務局

・新しい委員の紹介（省略）

### 3. 議事 会 長

今年の 3 月に第 5 回の協議会を開催してから少し時間が経っていますが、昨年度は戦略としての基本的な考え方について検討を行っており、今年度は事業化に向けた具体的な検討を進めるという正念場を迎えることとなります。どうか色々な観点から忌憚のないご意見をお願いいたします。

今回の議事は、平成 19 年度都市交通戦略のまとめ、都市交通戦略策定のスケジュール、平成 20 年度の検討事項の 3 点となっています。まず、平成 19 年度のまとめについて説明をお願いいたします。

### 事務局

・平成 19 年度都市交通戦略のまとめについて資料説明（省略）

会 長                   では平成 19 年度のまとめについて確認をしたいと思います。ただ今説明をいただきました中間報告の概要についてご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

委 員                   6 ページの先導施策についてですが、公共交通幹線軸の強化、L R T 化とは武生から福井までを想定しているのでしょうか。それとも赤と緑の線に表示されている区間を想定しているのでしょうか。

事務局                 福井市の場合は、郊外電車がそのまま都心に乗入れる形態となっておりますが、6 ページの図で表示している新田塚・ハツ島からベル前・江端の区間については相互乗入を予定しています。

委 員                   先導施策として、L R T ではなく、郊外型の大型の電車で西口に乗入れることになるのでしょうか。

事務局                 L R T の概念は色々ありますが、ここではまちの景観にも溶け込みやすい低床型の車両を想定しています。また、車両の長さについては、ヨーロッパを走っているような 30 から 40m 程度を想定しています。低床であるということと車両の長さが短いということは同じではありません。小さい電車を入れることが L R T 化ではなく、大きな電車を低床化するイメージと認識しています。

委 員                   現在のような郊外型の大きな車両を入れるつもりはないということはわかりました。  
誰が、いつ、どれだけの財源で   ということについては既に目安がついているのでしょうか。

事務局                 今年度の L R T 部会の中で検討したいと考えています。

委 員                   先導施策には「福井駅西口駅前広場への路面軌道の延伸」とありますが、駅前商店街としては現在の軌道を延伸して欲しくない要望しています。  
単線化するときの約束として、延伸する場合は再度協議を行うとか、市民の同意があれば撤去できるということも聞いておりますので、西口広場への「結節」は賛成ですが、「延伸」には賛成できません。  
第 5 回協議会で合意を得たということですが、合意は得られていないのではないのでしょうか。出席したから合意したということではありません。「結節」と「延伸」は別のものです。

事務局                 ここでの合意とは、今の福武線を西口駅前広場に乗入れることについて合意を得たということであり、乗入れのルートについては今後検討が必要となっております。

委員

シンボルロードを通す案については検討しているのでしょうか。「延伸」という表現では、今のルートそのまま延ばすということになるのではないのでしょうか。

会長

協議会の中では、大局的な観点を考えて、利用者本意に立って、西口広場へ延伸することについて合意をいただいたと認識しています。具体的なルートについては今後検討していくことになります。

委員

大名町交差点から延伸するという捉え方でよろしいのでしょうか。

事務局

西口駅前広場に結節させることを「延伸」として合意をいただいている経緯がありますので、「延伸」を「結節」に変えることはできません。ルートについては、ご提案いただいているシンボルロードを通す案と既存の軌道を延ばす案について今年度検討する予定です。

委員

先導施策の表現については、「延伸」ではなく、「結節」に変更するように要望します。

会長

ただ今のようなご意見があることも踏まえて、協議会としては昨年度合意をいただいているということで今後の検討を進めていきたいと思えます。他にご意見はないのでしょうか。

委員

4ページの6方向の公共交通幹線軸を強化していくという考え方はよいと思えます。富山市でもLRT化にあたって、並行バス路線については廃止された路線もあったと聞いていますが、福井市では既存のバス路線についてはどのようにお考えでしょうか。幹線バスを充実させてそこからフィーダーバスを運行する方向に転換させていくのか、既存のバス路線を残しながら幹線バスの充実を図るのかの方向性を示す必要があるのではないのでしょうか。

事務局

現段階では、そこまで明確な方向性は出ていないと認識しています。今年度引き続き検討を進めたいと考えています。

会長

将来目標である全域交通ネットワークを実現するために地域別にサービス水準を設定していますので、既存のストックを軸としてベースに置きながら、目標に応じて路線バスをどのように活用していくかを検討していくことになると思えます。

事務局

戦略協議会は基本的な考え方を決める場なので、個別の路線についての詳細な検討までは至らないと思えますので、そのあたりはご理解をいただきたいと考え

ています。

委員

新幹線ができれば北陸本線の民営化などの問題も出てくるとと思いますが、JR北陸本線と幹線軸である福武線との関係、役割分担についてはどのように考えているのでしょうか。

事務局

JR北陸本線とえちぜん鉄道や福井鉄道では通過するルートも異なりますし、駅間距離も相当違うため、役割分担を図ることができると考えています。

福武線、三国芦原線のルート沿いが福井市の骨格となる軸ということで、交通結節機能の強化や高頻度運行によって先導的に強化を図って、公共交通の利便性を高めていくことを考えています。

会長

そのあたりも含めて今後詰めていく必要があります。他にご意見はないでしょうか。

委員

7ページに平成20年度の取り組みが示されていますが、第5回協議会の資料と5番目と6番目の順序が入れ替わっていますし、名称も「駐車場戦略の立案」が「駐車マネジメントの推進」に変更されています。パッケージの順序は施策の優先順位と考えればよいのでしょうか。

事務局

施策パッケージの順序については、「モビリティ・マネジメントの推進」については、平成19年度から取り組んでいるため順序を入れ替えています。

用語については、内容が分かりにくいというご指摘を受けましたので精査させていただきます。

会長

いくつかご意見が出されましたが、平成19年度のまとめについては基本的な合意をいただいたと思います。今後具体化していく中では、財源や地元との調整などの課題があると思いますが、そうしたハードルを越えて実現化に向けた検討を進める必要があると思います。

2つ目の議題に入る前に、今後の検討を進める上での参考として、商工会議所で行った駅周辺へのオフィス立地に関する調査結果について紹介していただきたいと思います。

委員

・福井駅周辺へのオフィス立地に関する調査結果について資料説明（省略）

会長

ただ今の説明についてご質問、ご意見があればお願いいたします。

委員

市の条例によって、駐車場については附置義務が課されていますが、公共交通の利用割合が最も高い中心市街地では附置義務駐車台数を確保しづらいと思いますし、再開発を進める上でもネックになっているのではないかと思いますので、

基準を緩和することができればよいと思います。

事務局

福井市は自動車の分担率も高いため、目的地側で駐車場を確保するためにも、附置義務の基準の緩和は難しいと考えていますが、ご提案として受けさせていただきたいと思います。

委員

福井市に来てから 20 年になりますが、駅前の企業が少なくなっているように感じています。中心市街地における空室率はどの程度なのでしょうか。

委員

今回の調査では、386 室の賃貸戸数に対して、空室は 90 室で空室率は 23.3% となっています。ただし、アンケートによる結果ですので、実数としてはこれよりも多くなると思います。

会長

駅に近く来訪に便利であるということ踏まえることが必要です。公共交通の整備にあわせて企業の立地を誘導していくことが機能集約型の都市構造への誘導にも繋がると思います。

では、2 つ目の議題について説明をお願いします。

事務局

・福井市都市交通戦略策定のスケジュール案について資料説明（省略）

会長

ただ今説明をいただいた部会やパブリックコメントなどのスケジュールについてご意見、ご質問がありましたらお願いします。

事務局

補足説明させていただきます。今回の中間報告書の第 4 章までが総合交通計画に相当する部分ですので、福井市の施策として進める上では第 4 章までをパブリックコメントにかけることが前提となりますのでご了承いただきたいと思います。

委員

今年度とりまとめる最終案についてはパブリックコメントを実施する予定はないのでしょうか。

事務局

パブリックコメントについては今回のみの予定としています。

委員

私自身これまでに何回かパブリックコメントに意見を書いています。他の計画でも意見の応募が少ないように感じますが、意見を書く人は一生懸命に書いているので、計画にどのように反映するかについての見解を聞かせて欲しいと思います。

事務局

都市交通戦略については、最終的には市の手続きとしては庁議に諮ることになりますが、提出していただいた意見については公表させていただきますし、協議

会でも報告したいと考えています。建設的なご意見については計画に反映したいと思ひますし、全てのご意見に対して回答する予定です。

会 長

では、中間報告書の第4章までの内容でパブリックコメントを実施することや概ねのスケジュール、LRTについては部会を設置して検討を進めることについてご了承をいただいたということで、3つ目の議題に移りたいと思ひます。事務局から説明をお願いします。

事務局

・平成20年度の検討事項について資料説明（省略）

会 長

6つのパッケージについて、今後このような方向で検討を進めたいという出発点を示していただきました。今後、部会やワーキングで検討を進めるにあたってのご意見、ご質問をお願いします。

委 員

交通結節の強化についてですが、京福バスが福井駅前に乗入れなくなってから35年が経過しています。沖縄県を除く県庁所在地でバスが駅前広場に乗り入れていないのは福井市だけです。また、利用者からも「バスの乗り場がわからない」という苦情を多くいただいています。

今は駅前にはタクシーと自家用車しか入っていませんが、バスが入っていないのはおかしいと思ひます。現在、新しい計画でバスも駅前広場に入ることが決まっております、大変ありがたいと感じていますが、まだまだ時間がかかると思ひますので、皆さんの英知ををいただいて少しでも早くバスが駅に近いところで結節できるようにして欲しいと考えています。

委 員

非常に重要な指摘です。総合ターミナル機能の強化は福井市にとっても念願のことですので、十分な検討をしていただきたいと思います。

委 員

現在の福武線のオフピーク時の運行は武生新～福井駅前となっており、福井駅前～田原町はシャトル便により対応していますが、第一段階の図はオフピーク時のイメージということでよいと思ひます。

乗入れのルートやダイヤ、運賃システム等については、LRTの部会の中で十分な検討を行うことが必要だと思ひます。

会 長

利用者本意のサービスを提供することは公共交通にとって重要ですので、朝夕のピーク時とオフピーク時では移動のニーズも違うことも踏まえて検討を進めることが必要です。

委 員

現在どの駅がどれだけの乗降客があるかのデータを示してもらえれば、駅の移設や増設などを検討する材料になると思ひます。

事務局 検討の材料になると思いますので、事業者と相談して検討したいと思います。

会長 ベースの情報となると思いますので、必要に応じて協議会にも示して欲しいと思います。

委員 第4回協議会の資料では、「現状」、「三国芦原線経路変更後」、「今戦略の目標」という表現になっていましたが、今回の資料での第二段階とは「今戦略の目標」と同じものと考えればよいのでしょうか。それとも、とりあえず第一段階を確実に実施したいということでしょうか。少しトーンダウンしたような感じを受けました。

事務局 福井市として、新幹線の効果も活用した取り組みを進める必要があるという状況の中で、三国芦原線の福井駅への延伸はすぐにも果たさなければならない目標ということで、第一段階に位置づけています。第二段階を先送りするのではなく、視野に入れながら、今年度中に決着を図る必要があるものを第一段階として位置づけています。

委員 今年から県や市の支援をいただいて、毎月1～2回電車を止めて駅前電車通りでイベントを行うことになりました。こうした動きと利用促進が両立できるように取り組んでいく必要があると思います。

また、西部方面のバス路線の整備にあたっては、全区間での拡幅はできないと思いますが、バス停の部分については幅員を拡げて、自動車の通行に支障のないようにしていただきたいと思います。

駐車マネジメントの推進であげられている都心地区交通計画の検討については、十分な研究、調査が必要ですので、検討の回数を増やす、別の機会を設けるなどの検討が必要だと思います。

委員 南北幹線軸のLRTの整備については少しがっかりしました。市民意識調査の結果からも運行本数が少ないという意見が最も多いにもかかわらず、第一段階でこれがクリアできないことが残念です。市民の意向に沿うためには高頻度運行は欠かせないと思いますので、第一段階を早くクリアしてできるだけ早く第二段階に進んで欲しいと思います。

LRTの整備に関連してですが、路面電車が市民に受け入れられている都市では、交差点の中にはクルマを誘導するためのマーキングがされています。福井でも、路面電車の定時性を確保するためにも交差点内でのクルマの誘導をしっかりとって欲しいと思います。

また、西口駅前広場と織協ビルのバスターミナルとの関係についてですが、織協ビルのターミナルはそのまま残ると聞いていますが、ターミナル機能が二分化されるように感じられますので、ご検討いただきたいと思います。

ICT化については、利便性の高い公共交通を実現するためには不可欠なものだと思いますので、「システムの検討」だけでなく、もう少しトーンを強めて欲しい

いと思います。先行的に検討を進める必要があると思います。

委員

所要時間が5分のところでも自動車を利用するという市民性を考えると、モビリティ・マネジメントの取り組みは重要だと思います。今回の資料にあるように、都市交通戦略のハード整備、具体的にはLRTの導入のタイミングに合わせて実施するのもよいと思いますが、公共交通に乗ってどこに行けるのか、何ができるのかという視点も必要です。公共交通に関連したイベントでまちなかに人を呼び込むことも大切ですが、福井市は海や山というイメージもあると思いますので、観光シーズンにはそうしたところへ観光客をどのように誘導するかといった検討も重要だと思います。

会長

日常の交通だけでなく、非日常の交通についての視点も重要だというご指摘だと思います。

委員

都市交通戦略を早く進めないともちづくりも前に進みません。商工会議所としてもできる限り協力したいと思いますので、戦略を少しでも早く前に進めて欲しいと思います。

委員

非日常の交通への対応が重要ということについては村中委員のおっしゃったとおりだと思います。

また、戦略である以上、いつまでに何をするかという年次計画と、LRT駅の利用者数などの効果を測るための目標値を設定することが必要です。こうした部分が現段階では戦略としては薄いのではないのでしょうか。

ワーキングや部会の中でするのかもしれませんが、市民に対してきちんとフィードバックすることが行政の役割ですので、こうした検討はしっかり行って欲しいと思います。

会長

ただ今のご意見の通りで、そこまでの検討をしないと戦略にはなりません。今後の検討を進める上で重要な視点だと思います。

委員

特に南北軸上には学校も多いので、通学時や帰宅時の運行本数を確保するとともに、安全・安心に配慮した運行をお願いしたいと思います。

委員

LRT化やバスの整備などは「まちづくり」、「地域の発展」のための手段だと認識しています。今後の検討を進める上でも、「まちづくり」、「地域の発展」という観点が重要だと思います。

委員

福井鉄道としては福井駅周辺へのバスの運行本数はあまり多くありませんが、「分かりやすいバス乗り場」という視点は重要だと思います。

公共交通は住む場所と通う場所があって成立するものなので、駅周辺の企業が

鉄道駅の沿線に社宅を建てるといった取り組みもあればよいのではないかと思います。

ＩＣカードについては、単一の組織で行うか何社かが共同で行うかによって費用も大きく変わるため、こうした視点からの検討も必要だと思います。

委員

高齢化社会を迎える中での今後の福井市のまちづくりを考えると、郊外型とするよりも、やはりコンパクトシティを目指すべきではないかと思います。福井市は県庁や市役所が駅周辺にあり、行政機関もコンパクトにまとまっていますので、コンパクトなまちづくりをしやすい環境にあると思います。

また、５分以内の移動でも自動車の利用が多いという結果が示されていますが、５分以内というのは概ねまちなか地区の中での移動時間程度になるかと思えます。ＬＲＴなどの骨格となる公共交通機関を整備することも大切ですが、まちなか地区の中で巡回バスを運行するなどの取り組みをしないと、まちなかに入ってから不便になるためクルマ利用が多くなるのではないかと感じました。

委員

ＩＣＴ化のモデル事例としてバスロケによる情報提供があげられていますが、まちなかでの移動を考えた場合、バスロケだけでは不十分であり、更なる利用促進には繋がらないのではないかと思います。バス路線がえちぜん鉄道や福井鉄道と繋がるのであれば、それらについての情報も併せて提供するシステムを考えると、より効果的で利用者にとっても利便性の高いものになるのではないかと感じました。

また、ハード整備も重要ですが、利用する人の心を変えていただくということで、モビリティ・マネジメントなどのソフト面からの活性化も並行して進めれば効果的だと思います。

委員

福井県としても福井市と協力してＬＲＴ化等を推進していきたいと考えています。また、今年度から第二第四金曜日をカーセーブデーとして自動車の利用を控える取り組みを行っており、現在までに 100 以上の企業の協力をいただいています。徐々に浸透してきていると思いますので、今後もこうした取り組みを広めていきたいと考えています。

委員

今後も、再開発や連立事業など、まちづくりを進める上で福井市と協力して取り組んでいきたいと考えています。

公共交通を運営するのは民間企業ですので、いくらよいシステムを作っても利用されないと問題の解決にはなりません。戦略での検討を進める中で、広く県民、市民を巻き込んで、関心を高めていくことも重要だと思います。

委員

ＬＲＴ部会の委員は決定しているのでしょうか。

事務局

今後、会長と相談して決めたいと考えています。

会 長

L R T 部会の委員としての参加を依頼した場合にはご協力をお願いします。最後に、浅沼副会長からご意見ををお願いします。

副会長

いろいろと参考になる意見が多く出されたと思います。

モビリティ・マネジメントについては、公共交通の利用者が増えるという即効性という面での効果が大きいと思います。パーソントリップ調査でもモビリティ・マネジメントの手法を取り入れており、実際に取り組みによる効果も見られています。昨日、福武線の活性化連携協議会が開催され、沿線3市のサポート団体の方も委員として参加されていましたが、それぞれの地区で乗る運動、活性化に向けた取り組みを展開しています。モビリティ・マネジメントの中でこうした取り組みとの連携を検討することも必要ではないでしょうか。

また、商工会議所のアンケートの結果として、駅周辺に事業所を置く理由として約30%が「中心地でイメージ良好」をあげていますが、あまり高い数値とはいえません。この結果は中心市街地のイメージが余りよくないことを示しているようにも思われますので、中心市街地のイメージを高めることも視野に入れて検討を進めることが必要だと思います。

会 長

今後の検討を進める上での課題について様々な視点からご意見をいただきました。本日いただいた意見も含めて、L R T 部会やワーキングの中で検討を進めていただいて、再度協議会でも確認しながら実現に向けての戦略を練り上げていきたいと考えています。

将来の交通やまちを取り巻く状況を考えたときに、現状のままでは立ち行かなくなりつつあり、抜本的な転換をしなければいけないということについては共通認識を得ていると思います。このため、福井市がこうした取り組みを進めるには今が絶好のタイミングですので、この協議会は非常に重要な役割を担っていると思います。委員の皆さんもいろいろな機会で、周辺の人や団体にも議論を広げていただきたいと思います。

今後、公共交通を核として、まちづくりと連携しながら交通体系やまちの構造そのものを抜本的に変えていくということになりますが、公共交通に対する公益の考え方というものもハードルとして越えていく必要があります。

もう一つは、街路も含めた公共空間の公益性、将来をにらんだ再編・再配置を考える中で、既得権をハードルとして破らないといけない場面が出てくるということです。

このあたりを踏まえて、大局的にどういう方向で進むかについては、かなり厳しい議論が必要になると感じています。ただし、それを越えない限り今回掲げた目標は実現できないことになるので、議論をしながら少しずつ合意を得てハードルを越えていきたいと思います。

今後も色々な場で検討を重ねていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。本日はどうもありがとうございました。

事務局

次回の協議会は9月の下旬を予定しています。日時については改めて連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(以上)